



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		マニフェスト伝票により現場から発生する廃棄物の管理をしている。廃棄物は産業廃棄物指定業者により処理し、産廃業者とは契約書で現場毎の契約をしている。			3.9		6.3				11.6	12.4		14.1	15.1								
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社内のエネルギー使用量は簡易計算シートを導入して把握している。現場保安灯、交通誘導灯、簡易信号機等の安全施設は太陽光発電により運用される物を使用している。社長の営業車はハイブリッド自動車、現場管理は低燃費軽自動車を使用している。							7.3					13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社内のエネルギー使用量は簡易計算シートを導入して把握している。低燃費高効率の作業機械を選定し、現場管理用、営業用の車は低燃費軽自動車もしくはハイブリッド車を使用している。		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4		13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		河川工事ではオイルフェンスを設置し生態系に影響が無い様に配慮している。護岸ブロックを環境配慮型を使用し緑化工事推進に取り組んでいる。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社内資料を電子化しペーパーレスを推進している。再生紙をコピー用紙に使用している。連絡事項、写真管理を電子媒体で確認している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事務所内では再生紙コップ等を使用し、食器、コップの洗浄作業は行っていない。ウォーターサーバーにより使用水量を管理している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コップ、食器、コピー用紙はすべて再生紙を使用している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3		14	15				17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		オフィスの壁面緑化や植栽に取り組んでいる。各種団体の緑化事業に参加している。(緑川漁協主催の緑化事業等)												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		工事現場で使用する重機やダンプトラックは最新の排気ガス規制対応機種や燃費が向上する機種を選定するように取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5			13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15						
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		会社所有及び関係会社所有の山林については間伐・下刈等に参加している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15						
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		公用車にはEV車を導入するようにしている。										9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2		

